

令和3年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 引野 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

教科に関する調査(国語, 算数)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

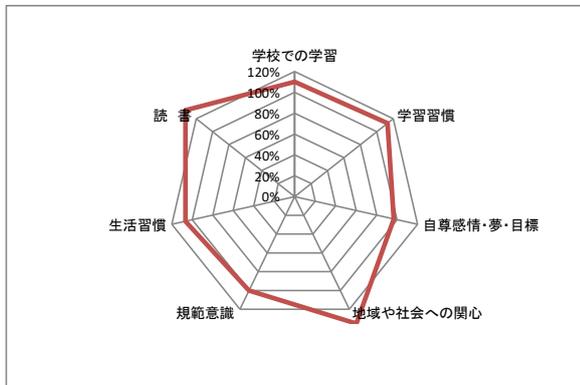
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.8	63	11.0	69
全国	9.1	65	11.2	70

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	正答数や正答率など、全体的に全国平均を上回ることができている。しかし、目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題など正答率が低い問題もあるので、それらの問題をやり直し、学力向上につなげていく。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題	
	努力が必要な問題	目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題。文章とそれに対応する図表を線で結ばせるなどの取り組みをしていく。	
算数	全体的な傾向や特徴など	正答数や正答率など、全体的に全国平均を上回ることができている。若干ではあるが無回答率が全国平均を上回る問題が2問あった。そのうち1問は記述問題であり、普段から自分で考え表現する力を算数でも付けていく必要がある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	2つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述できる問題	
	努力が必要な問題	2つの速さを求める式の意味について正しいものを選ぶ問題。普段から速さを求める除法の式に慣れ親しませていく。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> ・平日の家庭学習の時間は全国平均を上回っているが、土曜日や日曜日の家庭学習の時間は、全国平均より若干下回っている。土曜日・日曜日の家庭学習については、学年通信などを通して保護者にも家庭での指導をお願いしていく。 ・学校図書館の開館日を増やすなど、児童が本に触れ合う機会を増やした結果、読書の時間は全国平均を上回った。 ・自尊感情が全国平均より大幅に下回った。日々の学校生活において1人1人が活躍できる場面を作ったり、お互いの良さを認め合う場面を作っていくなどして、児童の自尊感情を高めていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

本校では、自らの考えを広げたり深めたりできる子どもを育成していくために、どの授業においても自分の考えをもち、図、式、言葉と結び付けて説明をする場を位置付けるようにしている。その取り組みの成果が生徒質問紙31～33の回答に表れており、これら3つの回答は全国平均を大幅に上回っている。今後も主体的・対話的で深い学びを実現していくために、本校の取り組みを継続していく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

学校だよりなどを通して、保護者に学校の情報を配信したり、家庭での過ごし方などの協力をお願いしたりしてきた。今後も、学校だよりなどを通して、保護者へ必要な情報を配信するとともに家庭での過ごし方などの協力をお願いしていく。中学校との定期的な連絡会だけではなく必要に応じて情報交換する機会を設け、小中9年間を見通した児童の学力向上に努めていく。